

あ 翔

あめつちほしそらやまかはみねたに
くもきりむろこけひといぬうへすゑ
アメツチホシソラヤマカハミネタニ
クモキリムロコケヒトイヌウヘスエ
天地星空山川峰谷雲霧室苔人犬上末
安以宇衣於加幾久計己左之寸世曾太
ABCDEFGHIJKLMNabcdefghijklm
n0123456789,.!?*&%

38Q / 50H

或曇った冬の日暮である。私は
横須賀発上り二等客車の隅に腰
を下して、ぼんやり発車の笛を
待っていた。とうに電燈のつい

22Q / 33H

或曇った冬の日暮である。私は横須賀
発上り二等客車の隅に腰を下して、ぼ
んやり発車の笛を待っていた。とうに
電燈のついた客車の中には、珍らしく
私の外に一人も乗客はいなかった。外
を覗くと、うす暗いプラットフォーム

16Q / 27H

或曇った冬の日暮である。私は横須賀発上り二等客
車の隅に腰を下して、ぼんやり発車の笛を待ってい
た。とうに電燈のついた客車の中には、珍らしく私
の外に一人も乗客はいなかった。外を覗くと、うす
暗いプラットフォームにも、今日は珍しく見送りの
人影さえ跡を絶って、唯、檻に入られた小犬が一
匹、時々悲しそくに、吠え立てていた。これらはそ

28Q / 33H

或曇った冬の日暮である。私は横
須賀発上り二等客車の隅に腰を下
して、ぼんやり発車の笛を待って

20Q / 27H

或曇った冬の日暮である。私は横須賀発上り二
等客車の隅に腰を下して、ぼんやり発車の笛を
待っていた。とうに電燈のついた客車の中には、
珍らしく私の外に一人も乗客はいなかった。外
を覗くと、うす暗いプラットフォームにも、今
日は珍しく見送りの人影さえ跡を絶って、唯、

16Q / 20H

或曇った冬の日暮である。私
は横須賀発上り二等客車の隅
に腰を下して、ぼんやり発車
の笛を待っていた。とうに電
燈のついた客車の中には、珍
らしく私の外に一人も乗客は
いなかった。外を覗くと、う
す暗いプラットフォームにも、